

「建退共」証紙の貼付は一人親方労働者としての権利です。公共工事の現場に就労しているダンプの組合員は堂々と請求して受け取りましょう。

建退共で不明な点は組合に問い合わせてください。



写真＝建退共手帳を持ってれば証紙の貼付を要求できます。

発注元に証紙発給を要請

工事現場の「新規入場アンケート」で、建退共手帳の所持の有無を記載している場合、元請け事務所などに手帳を提出すれば毎日一枚(三二〇円)の証紙を貼ります。この現場は建退共に加え、「この現場は建退共に入っています」と書いたステッカーが張ってあるのをよく見かけるといいます。

一日一枚三二〇円の積立

七月、第二四回ダンプキャラバン行動でも、建退共の貼付について「辞退届が出されていても」手帳所持の一人親方労働者への証紙貼付について指導の徹底を要請しました。

ずっと以前にも広島市内のトンネル工事現場で組合員が就労した際に、トラブルにならないように組合は、発注元の担当者に対し「建退共手帳を持っているダンプ持ち労働者に元請ゼネコンの責任で証紙を貼付するように指導してもらいたい」と要請したところ発注元担当者は「元請に説明して、証紙が貼付されるようにします」と回答、結局手帳は一次下請けの事務所に提出、就労が終わって証紙を受け取りました。多い人は三〇〇枚近く受け取りました。

建退共本部からも通達

これは順調に行ったケースかも知れませんが、建退共手帳を所持している一人親方労働者の当然の権利でもあります。建退共本部から通達も出されています。きちんと元請から説明して行けば、理解はしてもらえらると思います。

証紙の請求は仕事が終わらないうちに行いましょう。公共工事現場に就労しているダンプの組合員のみならず、建退共手帳を持っている人は組合に問い合わせてください。手帳をまだ持っていない人も組合に連絡してください。

組合は発注元や元請ゼネコンスキとちゃんと話し合い理解を求めて行きます。

広島のだんぷ労働者の新聞

ダンプ通信

全日本建設交通一般労働組合広島県本部
広島ダンプ支部
〒七三〇〇八五三
広島市中区堺町二丁目一九三〇三
TEL (082) 2355-3005
FAX (082) 2355-3051
MAIL cte@hiroshima.email.ne.jp



「広島からのよびかけ」を採択し
た原水爆禁止世界大会—広島
(8月6日、広島県立体育館)

広島からのよびかけを採択(世界大会広島)

広島は八月六日(日)被爆七十二年を迎えましたが、広島市平和記念公園では記念式典が行われ、松井一実市長が平和宣言を読み上げ、「核兵器禁止条約の締結促進」を政府に呼びかけました。安倍首相は唯ひとり「核兵器禁止条約」に一言も触れることはなく異様な状況でした。

午後からは広島県立総合体育館で二〇一七年原水爆禁止世界大会実行委員会の主催でヒロシマデー集会が開催され二千人が参加しました。建交労の県内各支部からも参加しました。広島ダンプ支部からは大会要員や代議員として大会に参加しました。

世界大会広島では「アメリカの核の傘からの離脱と核兵器禁止条約への参加を日本政府に要求し、よびかけ」などを訴える「広島からのよびかけ」を採択しました。

徒然草

◆人類史上ついに「核兵器の使用も製造も違法」当然「核兵器での威嚇(いかく)も違法」とする「核兵器禁止条約」が国連で一二二カ国の賛成(反対1、棄権1)で成立した。とくにヒロシマ・ナガサキのヒバクシャが「原子爆弾の被害者は私たちが最後にしてほしい」と被害の実相を世界に訴えてきたことが世界を大きく動かし国連を動かす最大の力となった。◆安倍首相は八月六日、広島市の記念式典と九日の長崎の祈念式典に参加し挨拶したが「核兵器禁止条約」には一切触れず、極めて異様な挨拶と受け止められ、式典後地元の被爆者の代表との懇談の場でも「あなたはどこの国の総理ですか」と厳しく批判されたことはテレビでも放映された。◆安倍政権は「核兵器禁止条約は、核保有国と非保有国との分断を深めるので反対」を表明しているが昨年までの「核保有国と非保有国の橋渡し役になる」は詭弁(きべん)であったことになり、◆ジュネーブ軍縮会議で核兵器廃絶を訴える日本の高校生平和大使の演説が突然中止させられた。理由は日本政府代表が「今年は適当でない」と判断したと伝えられているが、高校生たちは「核兵器禁止条約」賛成国が増えることを訴える予定だったとのこと、「政府に逆らうことは許さない」と言うことか。(M)

戦争はいけん！人類初めての核兵器禁止条約は9月20日から発効、多くの国を参加させるために「ヒバクシャ国際署名」を頑張ります・・武田事務局次長の手記①



世界大会終了後広島からの参加者全員で、旗の横にるのが武田君。(8月9日、長崎市民会館体育館)

今年是被爆七二年、去る八月七日から九日にかけて長崎市で原水爆禁止世界大会・長崎と関連行事等が行われ、武田喜成事務局次長は広島ダンプ支部と県本部の代表として初めて参加しました。以下はその報告手記です。(2回連載)

八月七日(月)〜九日(水)の三日間、長崎市で開かれた原水爆禁止世界大会に組合の代表として参加しました。

核兵器禁止条約に批准しない政府なら退陣せよ

七日の午後の開会式には六千人が参加。被爆者の方の悲願であった核兵器禁止条約が一二カ国の賛成により国連で採択された記念すべき年の大会であるということが強調されました。そしてこの条約の採択は核兵器廃絶のスタートであり、今度は世界中の国にこの条約を批准させる事が大切だということや核兵器を二度も使用され、その悲惨さを知っているはずの日本政府がこの条約に批准しないどころか、

このか、国連会議の冒頭だけ参加して反対するのはおかしい、まずは政府が条約を批准するよう署名活動を一層取り組むこと、そして批准しない内閣であるならば変える必要があるという事が強調されました。

長崎市の田上市長があいさつに駆けつけ、政府に対し「核兵器禁止条約」に一日も早く参加し核の傘に依存する方針を見直すことを要求、参加者からもひととき大きな共感の拍手が送られました。広島大会では市長自ら来る事は無かったので驚きました。二日目の八日は、朝から「動く分科会」碑めぐりに参加しました。

爆心地公園の原爆投下中心碑に行きました。なぜここが中心地かというのは周りの木々は爆風で倒れていたのにこの場所の木々は倒れていなかったからだという事でした。この中心碑も過去には近くにあるマリア像のようなものと取り替える計画があったそうですが、誰もが訪れる事が出来る碑がふさわしいという事で反対運動も起こり今に至るそうです。

中心地の周りには多くの慰霊碑がありました。ここでは〇〇労働者慰霊碑とかかれた碑が多くあり、原爆投下時間帯(一一時二分)からも労働者が働いていた時間である事を想像しました。建交労はスローガンに「失業と貧困と戦争に反対」を掲げており、労働組合として戦争に反対している



「平和の泉」手前の碑に「少女の手記から」が書いてありました。(8日・武田撮影)

意義を感じることが出来ました。

午後からは平和公園、資料館にも行きました。資料館で当時の様子などを色々々なものを見た後、平和の泉に行きました。そこには「のどが潤いてたまりませんでした。水には油のようなものが一面に浮いていました。どうしても水が欲しくてとうとう油の浮いたまま飲みました。ある日のある少女の手記から」とだけ書いてありました。当時の様子を見た後の事でしたので色々な想像をしてしまいました。水を飲んだらすぐに死んでしまったのだろうか？あぶらのようなものは何なのだろうか？簡単な文章でしたが戦争は嫌だなあと感じました。

交流会で祖母から聞いた被爆体験を報告

夕方からは市内にある建交労長崎県本部の事務所、建交労の交流集会所が開催され、北は北海道か

組合活動日程

- 八・二六 広島ダンプ支部合同役員会
- 九・二 建交労全国大会(〜四日)
- 九・八 社会保障推進協議会結成大会
- 九・九 企業組合広島定例会
- 九・一六 企業組合呉定例会、県労連大会
- 九・一八 戦争法強行採決二年、広島市民集会「ドーム前集会とデモ行進」
- 九・二二 ダンプ支部合同役員会
- 九・二四 建交労広島県本部大会
- 九・二七 生活保護裁判
- 九・二九 生公連事務局会議
- 九・三〇 生活保護裁判を支援する会総会
- 九・三〇 働く者のいのちと健康を守る広島センター総会(ロードビル)
- 一〇・九 ヒロシマ革新懇総会と公開講演会「アベ政治を許さない!」
- 一〇・一四 企業組合福山定例会
- 一〇・二二 建交労中国フェスタ(〜二三日)

ら南は熊本まで約三〇人が参加しました。自己紹介の際、私は祖母が被爆者で、あるとき祖母から「原爆投下後の広島市内の強烈な様子は絶対に忘れない」という話を聞いたことを話しました。



建交労長崎県本部で開催された「建交労交流会」で発言する武田喜成事務局次長(8月8日・写真は大崎県本部より提供)